

2021年度 ⑨看護学研究科 <2021年度より新設>

P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
1)B's Vision2024 の4つのビジョンの中でも、【ストレス耐性を持った人材の育成】と【教育力日本一】に焦点を当てて、取り組む。 【ストレス耐性を持った人材の育成】看護学研究科の院生は、全員、社会人であるため、新型コロナ禍における職場環境はかなり厳しい。加えて臨床を対象としたデータ収集は困難を極める。主指導教員以外で、院生生活をサポートする体制を整備する。 【教育力日本一】付属の医療機関がないため研究協力を得られる見込みがある医療機関と協議し、院生の研究推進を図る体制を構築する。KPIとして2か所は協力機関を得る。					
2) 認証評価結果を考慮し、本研究科修士課程の定員充足を図るために2022年の入学選抜試験を8月と11月として、大学院への進学希望者が受験しやすい環境を整備する。定員充足8割を目指す。					
3) 認証評価結果を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する基本的な考え方を示すため、カリキュラムマップの作成及びナンバリングを実施し、体系化を計画にする。					
4) 教学に関する方針を踏まえ、院生の視点を重視した学修者目線によるFD研修を実施する。特に共通科目に関するFD研修を実施する。					
5) 教員編成に関して、特任教授は完成年度までの任期となっているため、特任教授が担っている科目担当の検討を始める。					